

米に関するマンスリーレポート (令和5年11月号)



うちの郷土料理
次世代に伝えたい大切な味

福島県 はらこ飯

出典: 農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

福島県 はらこ飯

主な伝承地域

福島県 相馬市、南相馬市、浪江町

主な使用食材

はらこ、ご飯

歴史・由来・関連行事

松川浦や浜通りの河川では、秋になると新鮮な鮭を獲ることができる。中でも請戸川は、福島で最初に鮭の人工ふ化を取り入れた場所としても有名で、以前は毎年鮭の捕獲を行う時期に鮭祭りを開催していたほど。最盛期には1日1,000尾から3,000尾の水揚げがあった(浪江町ホームページより)と言われ、鮭漁の名所として知られている。

鮭が多く獲れる時期には鮭料理が多く振る舞われ、郷土料理にも鮭が使われている。鮭の卵であるいくらを「はらこ」と呼び、はらこをたっぷりとご飯にのせて食べるのが、「はらこ飯」。新鮮な鮭から袋ごとはらこを取り出し、薄皮を丁寧に取り除いたあとに鮭と醤油に漬けて作る。

食習の機会や時季

9月の下旬から11月まで、鮭は産卵のために遡上し、鮭の捕獲が始まる。かつて実施されていた川幅ほどの大きな網による地曳網漁は圧巻で、これを見るために遠方から観光客も訪れていたほど。漁を行っている間は、近隣の食堂で獲れたての鮭を使った料理が振る舞われ、はらこ飯を食べることができた。

飲食方法

鮭からはらこを取り出し、下ごしらえをして酒と醤油に漬けておく。これを炊き上がったご飯にたっぷりとのせて食べる。家庭で作る際は多めに作って冷蔵庫に保管しておき、何度かに分けて食べることもあるという。

また、福島では、鮭の切り身やこんにゃく、里芋、ねぎをだし汁で煮込み、味噌で味付けた「紅葉汁」と一緒に食べることが一般的。

材料（1人分）

・ 米	カップ3杯	・ 酒	カップ1/3杯
・ はらこ	カップ1杯	・ 醤油	カップ1/2杯
・ 塩	少々		

作り方

- 【下ごしらえ】
雌の鮭から袋ごといくら（卵）を取り出し、ボウルにやや熱めの湯と塩ひとつかみ入れた中でいくらを袋から取り出し、薄皮を取り除く。
- 【下ごしらえ】
その後、ざるにあけてから数回水洗いをして薄皮を完全に取り除き、酒を振りかけて30分おく。
- 一腹で酒、醤油に漬け込んでおく。冷蔵庫に入れておくといつでも食べられる。
- 炊きあがったご飯の上にのせて食べる。

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

目次（令和5年11月号）

特集

- 1 令和5年米の農産物検査結果及び高温・渇水の状況と対応について
- 2 令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

特集-1

特集-7

農林水産省(統計情報)HP

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4

- 3 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和5年10月19日))

特集-13

農林水産省(農産)HP

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

- 1 民間在庫の推移

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1)全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫-1

Excel

- (2)産地別民間在庫の状況

在庫-4

Excel

- (3)令和4・5年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫-5

Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。

このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和5年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

- 1 相対取引価格・数量

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1)年産別の相対取引価格

価格-1

- (2)相対取引価格・数量(令和5年産米、産地品種銘柄別、令和5年9月分)(速報)

価格-2

Excel

- (3)相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和4・5年産米、産地品種銘柄別)(速報)

価格-4

Excel

- 2 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和5年10月分)

価格-6

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

- 1 事前契約(播種前契約)の取組状況

- (1)近年の事前契約(播種前契約)数量の推移(令和3年産～令和5年産)

契約-1

- (2)令和4・5年産米の産地別事前契約(播種前契約)の取組状況(速報)

契約-2

Excel

- 2 令和5年産米の産地別契約・販売状況

契約-3

Excel

(累計、うるち米、令和5年9月末現在)(速報)

- 3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入札の結果(令和5年産)

契約-6

農林水産省(農産)HP

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/svorvu/kaiire/index.html>

4 消費の動向

1 米の消費動向(米穀機構による調査)

消費-1

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)

消費-4

総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/data/index.html>

3 消費者物価指数の推移

消費-6

4 小売物価統計の推移

消費-7

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)

消費-8

6 小売価格の推移(POSデータ)

消費-9

5 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

輸出入-1

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

輸出入-2

(3) コメの輸出数量の2022年の主な増加要因

輸出入-3

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

輸出入-4

(5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

輸出入-5

(6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移

輸出入-6

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

輸出入-7

(8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移

輸出入-8

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

輸出入-9

3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)

輸出入-10

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueiki/nyusatu/index.html>

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和5年度)

輸出入-11

5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和5年度)

輸出入-12

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和5年度)

輸出入-13

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

主食外-1

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

主食外-1

(3) 令和5年産 都道府県別の生産状況

主食外-2

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

主食外-3

(5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

主食外-3

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

主食外-4

(2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計)

主食外-5

(3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移

主食外-6

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

主食外-7

(2) 日本酒原料米の使用状況

主食外-7

(3) 酒造好適米の生産量

主食外-8

(4) 酒造好適米の需要量

主食外-8

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。
また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

令和5年産米の農産物検査結果及び高温・渇水の影響と対応について

1 令和5年産水稻うるち玄米農産物検査結果(令和5年9月30日時点)

- 令和5年産米の検査数量は、9月末現在189万トン（前年同期158万トン）。前年の検査数量421万トンと比較して44.9%の進捗率。
- 高温・渇水の影響による白未熟粒の発生等により1等比率は全国で59.6%（前年同期75.8%より16.2%低下）。

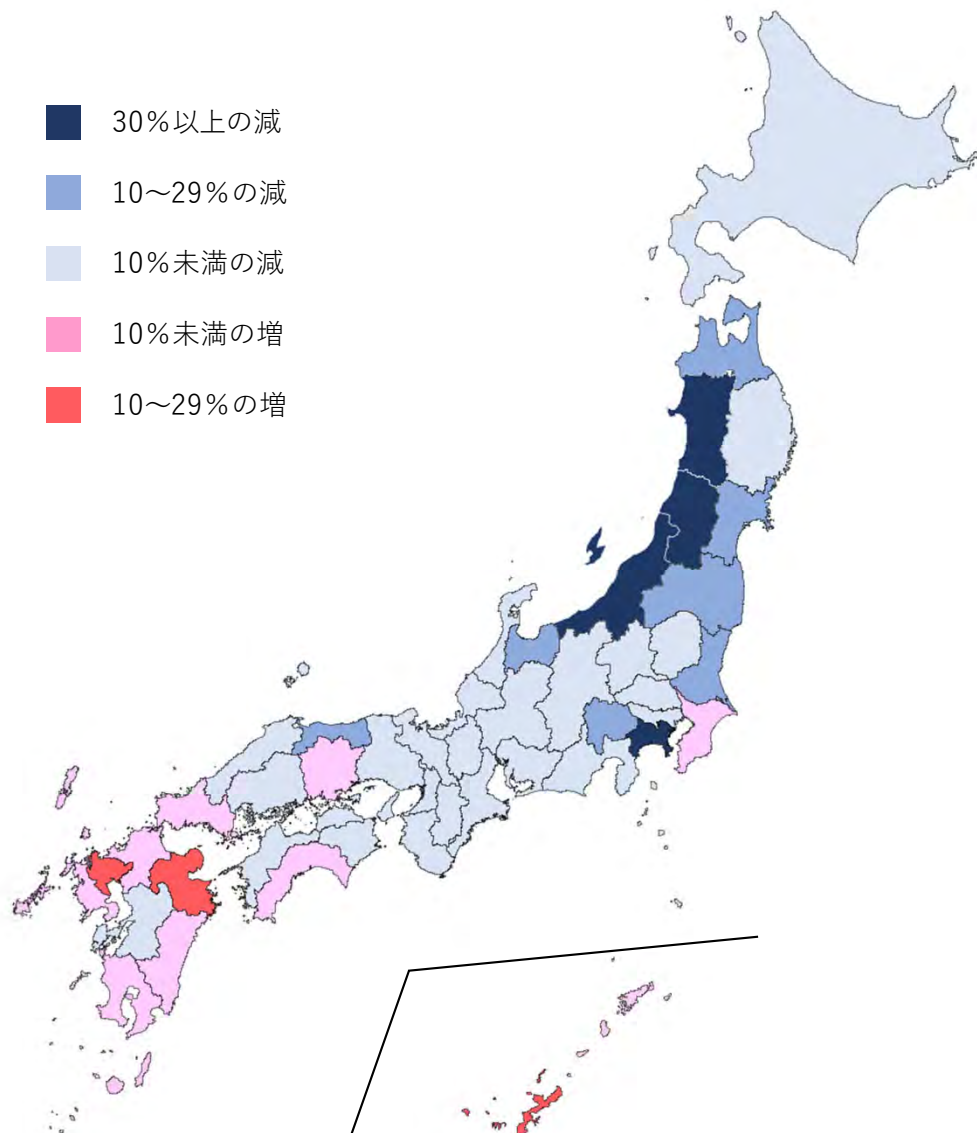
【全国の検査結果に占める1等比率】

(%)

	5年産	4年産	3年産	2年産	元年産
8月末現在	68.9	68.0	76.1	74.3	67.8
9月末現在	59.6	75.8	82.6	80.7	67.6
最終	—	78.5	83.1	79.8	73.2

※元年産～3年産の最終は確定値、4年産の最終は令和5年3月31日現在の速報値

【1等比率の前年同期比較】



2 令和5年産水稻うるち玄米 等級別検査比率（令和5年9月30現在）

	等 級 比 率				1 等 比 率	
	1 等	2 等	3 等	規 格 外	前年同期	5力年平均 (H30-R4)
北 海 道	86.4	9.3	1.7	2.5	93.6	89.9
青 森	68.9	29.8	1.2	0.0	92.2	92.8
岩 手	92.5	6.9	0.4	0.1	96.8	96.0
宮 城	84.0	15.2	0.7	0.1	97.4	88.1
秋 田	62.6	33.8	3.1	0.5	92.6	89.6
山 形	54.7	43.8	1.4	0.1	96.4	94.2
福 島	76.2	22.7	1.0	0.1	95.3	92.9
茨 城	57.1	38.1	4.5	0.3	67.6	80.1
栃 木	88.1	11.3	0.6	0.1	94.3	93.4
群 馬	64.1	29.4	6.4	0.1	69.1	89.1
埼 玉	32.1	44.2	22.7	1.0	37.8	65.8
千 葉	88.3	10.7	0.8	0.2	86.8	88.6
東 京	-	-	-	-	-	-
神 奈 川	16.8	75.5	7.6	0.1	60.8	37.6
山 梨	80.7	19.1	0.3	-	91.7	83.7
長 野	95.6	3.9	0.4	0.0	98.4	96.1
静 岡	80.4	16.1	3.3	0.3	85.4	80.4
新 潟	13.5	48.8	35.5	2.2	74.4	68.0
富 山	56.8	36.7	6.4	0.1	85.7	89.2
石 川	79.6	18.8	1.4	0.2	81.5	87.3
福 井	85.0	11.1	2.0	1.9	89.5	85.4
岐 阜	42.9	51.9	4.0	1.2	47.9	58.7
愛 知	20.8	53.8	24.6	0.8	29.0	54.8
三 重	31.6	64.4	3.7	0.3	40.0	36.4
滋 賀	57.4	40.3	2.2	0.1	65.2	66.4
京 都	62.7	31.0	5.6	0.7	69.2	65.8
大 阪	20.7	61.5	15.3	2.4	26.0	47.3
兵 庫	30.3	59.2	10.1	0.5	33.5	54.3
奈 良	78.8	18.1	2.8	0.3	85.9	89.2
和 歌 山	13.5	67.2	18.0	1.3	14.4	28.9
鳥 取	36.3	59.2	4.3	0.1	49.4	53.8
島 根	52.6	36.2	9.9	1.2	60.4	67.8
岡 山	76.7	20.1	2.4	0.8	73.3	67.9
広 島	86.6	12.4	1.0	0.1	87.7	84.9
山 口	78.8	19.5	1.5	0.3	76.1	73.4
徳 島	42.1	50.5	6.6	0.9	45.9	42.9
香 川	8.5	83.3	8.0	0.3	9.5	23.5
愛 媛	40.7	54.8	3.4	1.1	46.8	40.2
高 知	20.9	67.2	10.2	1.7	16.0	18.1
福 岡	11.0	81.7	6.2	1.2	8.6	22.1
佐 賀	76.0	21.5	0.9	1.6	61.0	46.0
長 崎	45.0	51.4	3.2	0.4	40.0	34.2
熊 本	29.3	57.9	11.2	1.6	29.8	29.5
大 分	64.4	30.5	3.7	1.4	54.2	51.4
宮 崎	61.7	24.3	10.5	3.5	60.4	48.3
鹿 児 島	37.6	50.6	10.4	1.4	27.9	41.0
沖 縄	58.3	30.9	7.4	3.4	43.6	51.2
全 国	59.6	31.1	8.4	0.9	75.8	79.0

注 1) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

2) 「0」は単位に満たないもの、「-」は事実がないものを示している。

3) 「5力年平均」は、平成30年産から令和4年産の平均値。平成30年～令和3年産は確定値、令和4年産は令和5年3月31日現在の速報値を使用。

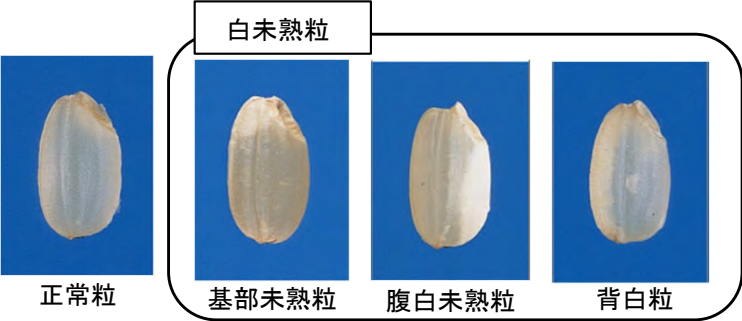
3 高温・渇水の状況と対応について

- 令和5年は、梅雨明け以降、北・東日本を中心に記録的な高温で推移。
- このため、出穂期以降の高温による白未熟粒の発生などが懸念された各県においては、品質低下を防ぐための追肥や水管理・適期収穫等の対応を強化。
加えて、一部地域では少雨による渇水のため、番水(※)や消雪用井戸の活用等も実施。
- 地球温暖化に伴い高温傾向が続くことが見込まれることから、高温耐性品種の拡大を進める必要。

※番水：用水の受益地区をいくつかに分け、区分した地区ごと、または圃場ごとに順番と時間を決めて、数日ごとに配水する方法。

【高温・渇水による農作物への影響】

・米：白未熟粒の発生



【高温・渇水への対策】

- ・高温耐性品種の導入
- ・土づくり、追肥、水管理、適期収穫等の高温対策技術の実施
- ・番水、消雪用井戸の活用、排水の反復利用等の渇水対策技術の実施

○米の高温耐性品種の作付状況



品種名	作付面積 (令和4年産)	作付けの多い 上位3都道府県
きぬむすめ	22,656ha	島根、岡山、鳥取
こしいぶき	19,600ha	新潟
つや姫	17,303ha	山形、宮城、島根
ふさこがね	11,900ha	千葉
あきさかり	7,658ha	広島、徳島、福井
にこまる	7,495ha	長崎、愛媛、岡山
とちぎの星	7,200ha	栃木
彩のきずな	6,500ha	埼玉
元気つくし	6,170ha	福岡
さがびより	6,060ha	佐賀
ゆきん子舞	5,200ha	新潟
ふさおとめ	4,800ha	千葉
なつほのか	4,058ha	長崎、大分、鹿児島
新之助	4,000ha	新潟
雪若丸	4,000ha	山形
てんたかく	3,802ha	富山
その他	21,185ha	
計	159,587ha	

出典：農林水産省「地球温暖化影響調査レポート」
※1 高温耐性品種とは、高温にあっても玄米品質や収量が低下しにくい品種で、地球温暖化による影響に適応することを目的として導入された面積について、都道府県から報告があったものを取りまとめたもの。
※2 作付面積には推計値も含まれる。

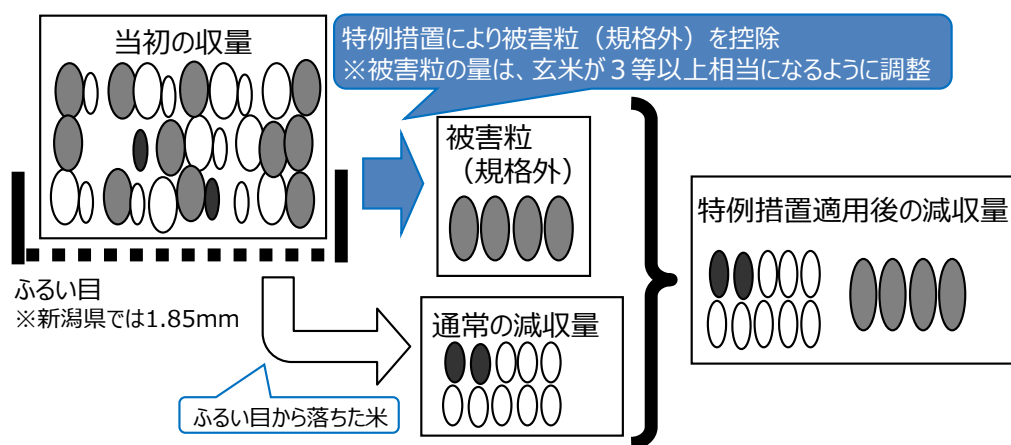
4 今般の高温・渇水被害に対する農水省の対応①

- 水稻共済では、品質低下による規格外の被害粒も減収量に含める特例措置が存在。また、収入保険では令和6年加入者より気象災害特例を措置し、災害等で収入が減少した年でも基準収入の8割まで補正。
- 高温による農作物の影響軽減のため、地域の実情や品目に応じた高温耐性品種や高温対策栽培技術の導入実証等を支援。

【農業保険による支援】

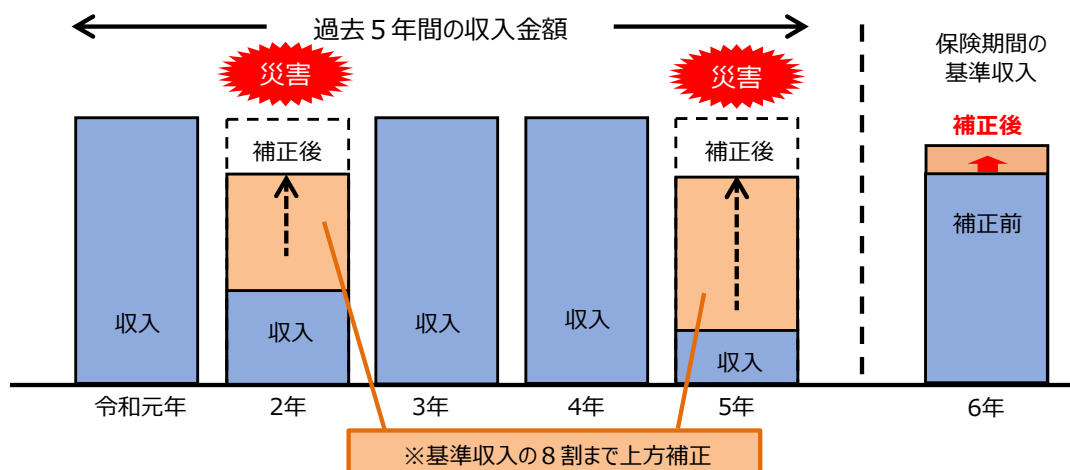
○ 水稻共済の損害評価の特例措置（農業共済組合からの申請による）

- ・ 品質低下による規格外の被害粒も減収量に含める



○ 収入保険に係る気象災害特例

- ・ 令和6年加入者より気象災害特例を措置し、災害等で収入が減少した年でも基準収入の8割まで補正



【高温対策栽培体系への転換等】

○ 高温対策栽培体系への転換支援：3億円【R5補正】

- ・ 高温耐性品種への転換や栽培技術の導入実証にかかる物財費を支援（1/2以内）
〔 例：実証圃の借上げ、種子・苗、遮光ネット等の生産資材、土壌分析、堆肥施用による土づくり、生産物の分析・調査等 〕



新品種への切り替え実証

○ 産地生産基盤パワーアップ事業：310億円の内数【R5補正】

- ・ 高温対策に必要となる機械・設備の導入や堆肥施用による土づくりの実証等を支援（1/2以内、定額）



土づくりの実証



追肥ドローン



色彩選別機

○ 農業競争力強化基盤整備事業等：460億円の内数【R5補正】

- ・ 揚水機場、貯水池整備等（1/2等）



貯水池整備

○ 災害復旧事業：397億円の内数【R5補正】

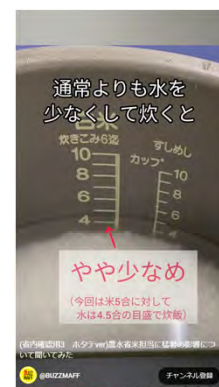
- ・ 渇水等により深刻な水田のひび割れが発生した場合に、復旧を支援（1/2等）

4 今般の高温・渇水被害に対する農水省の対応②

- 今夏の高温・渇水の影響を受け、白未熟粒が多発し、米の農産物検査における1等比率が低下している地域も発生。
- 農産物検査の等級は、精米する際の歩留まりの目安であり、おいしさの格付けではない。
- 白未熟粒は、精米過程で除去される場合が多いが、乳白色になった粒が多いお米についても、早炊きモードの使用や水加減を少なくすることなどによりおいしく炊けることを農水省公式YouTubeチャンネル「BUZZ MAFF（バズマフ）」「maffchannel（マフチャンネル）」にて情報発信。

【BUZZMAFF】

- ・ 猛暑による影響とおいしく食べる方法について、農水省職員が出演した60秒程度のショート動画を作成
- ・ 早炊きモードの使用や通常よりも水を少なめにして炊くと、乳白色の粒が多い米もおいしく食べられることを情報発信
(11/9(木)13時時点 再生回数8,468)



【maffchannel】

- ・ 米の食味の専門家の大坪研一教授、お米マイスターの澁谷梨絵さんにも出演いただき、4分程度の動画を作成
- ・ 米の検査等級はおいしさの格付けではないことについて説明
(11/9(木)13時時点 再生回数2,532)



新潟薬科大学
大坪研一教授



五ツ星お米マイスター
澁谷梨絵さん



～今年の猛暑とお米の食べ方について～

今年の新米は、猛暑で乳白色になっているものもあります。

皆さんが目にするお米は精米されているので

気にならないかもしれませんが、

もし、買われたお米が、「いつもより少し白いかな？」

というときは、この動画を参考にしてください。

作物統計調査

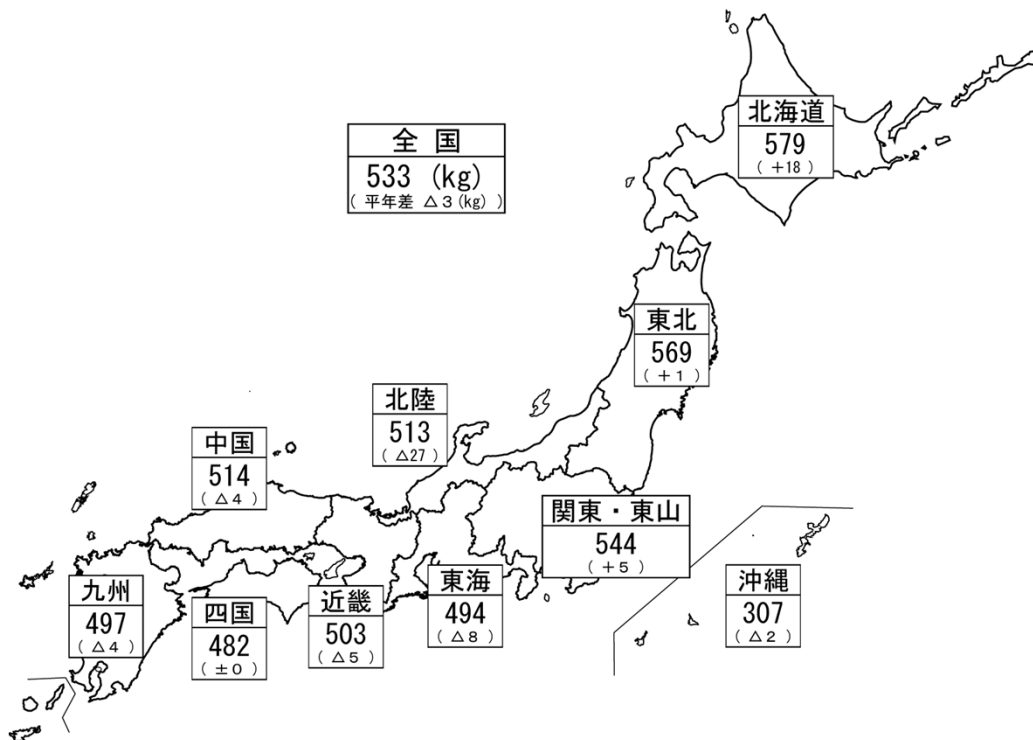
令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

— 予想収穫量(主食用)は661万tの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和5年産水稻の作付面積(子実用)は134万4,000ha(前年産に比べ1万1,000ha減少)となった。うち主食用作付面積は124万2,000ha(前年産に比べ9,000ha減少)となった。
- 2 全国の10a当たり予想収量は533kgと見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量(子実用)は716万5,000t(前年産に比べ10万4,000t減少)と見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は661万t(前年産に比べ9万1,000t減少)と見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふりい目幅ベースの全国の作況指数は101となる見込み。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量(10月25日現在)
(1.70mmのふりい目幅ベース)



- 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふりい目幅で選別された玄米の重量である。
- 10a当たり予想収量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

○ 本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y4 】

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：％

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成30年産	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
5（概数値）	100.0	0.6	1.0	1.3	2.1	10.2	84.8
平 均 値	100.0	0.8	1.5	2.0	2.9	15.4	77.4
対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.8	△ 5.2	7.4

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

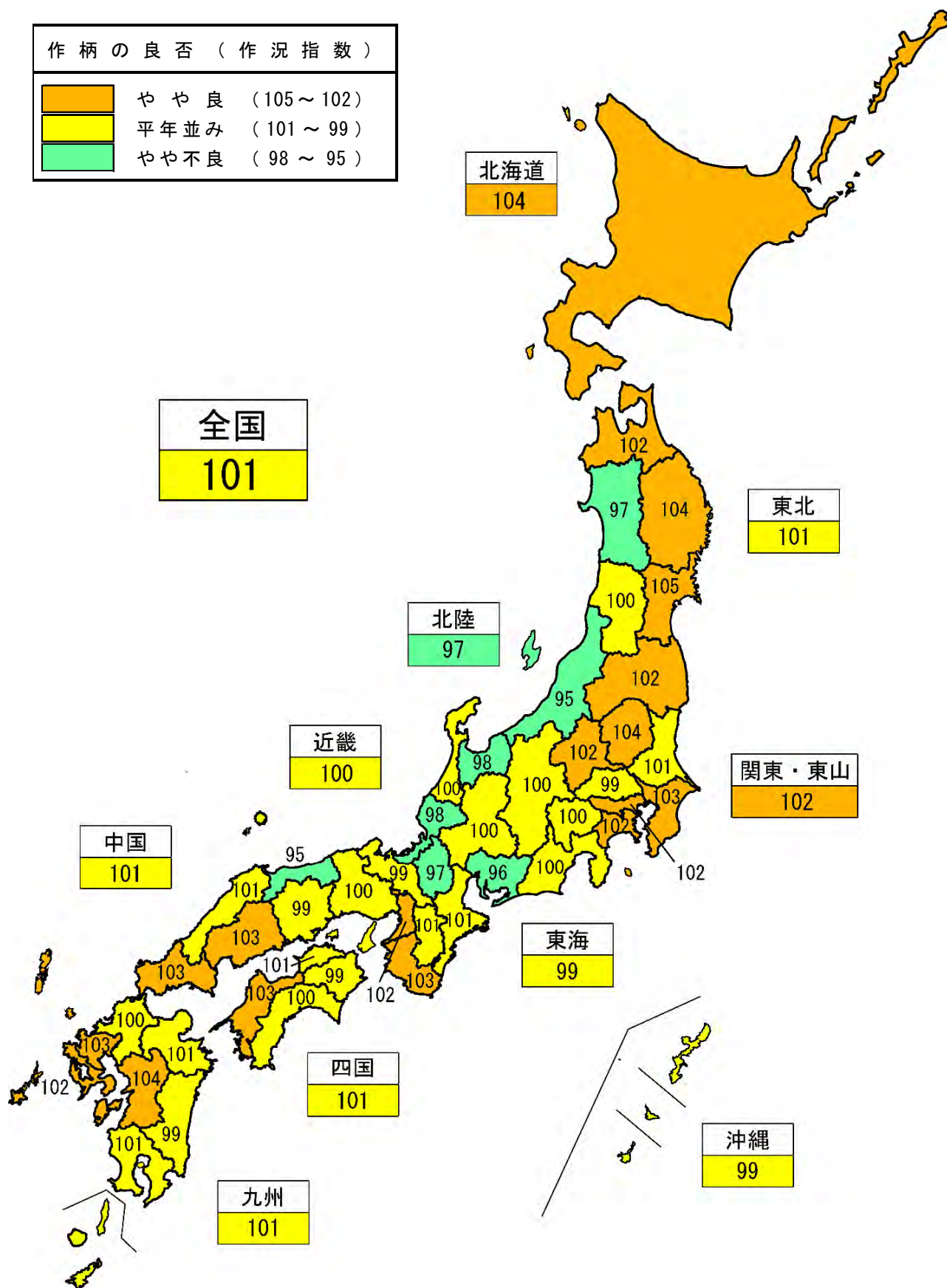
表 2 ふるい目幅別10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
平成30年産	10 a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10 a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10 a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10 a 当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量	t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4	10 a 当たり収量	kg	536	531	523	513	497	418
	収穫量	t	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
5 (概数値)	10 a 当たり収量	kg	533	530	524	518	506	452
	収穫量	t	7,165,000	7,122,000	7,050,000	6,957,000	6,807,000	6,076,000
		対前年比 %	99	99	99	100	101	107

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり(予想)収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の(予想)収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数(10月 25 日現在)
(農家等が使用しているふるい目幅ベース)



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

表 3 令和 5 年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 農 業 地 域	作 付 面 積（子 実 用）			10 a 当 た り 予 想 収 量			予 想 収 穫 量（子 実 用）			主 食 用 作 付 面 積	予 想 収 穫 量 (主 食 用)	作 況 指 数
	実 数 ①	前 年 産 と の 比 較		実 数 ②	平 年 と の 比 較		実 数 ③＝①×②	前 年 産 と の 比 較				
		対 差	対 比		対 差	対 差		対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,344,000	△ 11,000	99	533	△ 3	△ 3	7,165,000	△ 104,000	99	1,242,000	6,610,000	101
北 海 道	93,300	△ 300	100	579	18	△ 12	540,200	△ 13,000	98	82,200	475,900	104
東 北	349,100	800	100	569	1	10	1,988,000	40,000	102	309,200	1,759,000	101
北 陸	197,700	△ 500	100	513	△ 27	△ 28	1,015,000	△ 57,000	95	174,000	894,000	97
関東・東山	239,500	△ 600	100	544	5	6	1,302,000	11,000	101	227,500	1,238,000	102
東 海	86,800	△ 300	100	494	△ 8	△ 10	428,700	△ 10,100	98	84,300	416,500	99
近 畿	94,700	△ 1,700	98	503	△ 5	△ 14	476,100	△ 22,300	96	91,200	457,800	100
中 国	94,000	△ 1,800	98	514	△ 4	△ 10	483,100	△ 18,500	96	90,900	467,800	101
四 国	43,100	△ 1,500	97	482	0	△ 15	207,700	△ 13,900	94	42,700	205,500	101
九 州	145,300	△ 4,800	97	497	△ 4	3	722,000	△ 19,300	97	139,500	693,800	101
沖 縄	576	△ 63	90	307	△ 2	6	1,770	△ 150	92	544	1,670	99

- 注：1 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
4 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10 a 当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10 a 当たり収量と第二期稲の10 a 当たり平年収量の加重平均を用いた。
6 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去 5 か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

令和5年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 ・ 都道府県	作付面積（子実用）			10 a 当たり 予想収量 ②	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も多い 使用割合 の 目 幅 ③	10 a 当たり 予想収量 ④	10 a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥＝④／⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,344,000	△ 11,000	99	533	...	515	512	101
北 海 道 (2)	93,300	△ 300	100	579	1.90	555	535	104
青 森 (3)	40,500	900	102	614	1.90	587	574	102
岩 手 (4)	45,200	△ 900	98	551	1.90	535	514	104
宮 城 (5)	60,900	100	100	566	1.90	537	511	105
秋 田 (6)	83,000	600	101	552	1.90	524	542	97
山 形 (7)	61,000	△ 500	99	589	1.90	564	566	100
福 島 (8)	58,400	600	101	561	1.85	542	532	102
茨 城 (9)	59,700	△ 300	100	530	1.85	513	506	101
栃 木 (10)	51,400	600	101	553	1.85	537	515	104
群 馬 (11)	13,900	△ 500	97	504	1.80	494	482	102
埼 玉 (12)	28,400	△ 200	99	484	1.80	472	479	99
千 葉 (13)	47,700	0	100	557	1.80	550	533	103
東 京 (14)	111	△ 4	97	419	1.80	414	404	102
神 奈 川 (15)	2,850	△ 30	99	499	1.80	486	475	102
新 潟 (16)	115,800	△ 200	100	511	1.85	502	527	95
富 山 (17)	35,200	△ 300	99	528	1.90	511	519	98
石 川 (18)	23,400	300	101	518	1.85	508	509	100
福 井 (19)	23,300	△ 200	99	500	1.90	475	484	98
山 梨 (20)	4,750	△ 40	99	542	1.80	533	532	100
長 野 (21)	30,600	△ 200	99	614	1.85	601	599	100
岐 阜 (22)	20,700	0	100	484	1.80	476	475	100
静 岡 (23)	15,100	100	101	519	1.80	512	511	100
愛 知 (24)	25,800	△ 100	100	480	1.85	468	489	96
三 重 (25)	25,200	△ 400	98	501	1.85	483	478	101
滋 賀 (26)	28,300	△ 700	98	504	1.90	470	483	97
京 都 (27)	13,800	△ 200	99	502	1.85	489	492	99
大 阪 (28)	4,440	△ 100	98	503	1.80	489	478	102
兵 庫 (29)	34,200	△ 300	99	497	1.85	478	477	100
奈 良 (30)	8,250	△ 160	98	517	1.80	507	500	101
和 歌 山 (31)	5,780	△ 200	97	506	1.80	498	485	103
鳥 取 (32)	11,900	△ 200	98	481	1.85	469	495	95
島 根 (33)	16,100	△ 300	98	515	1.90	489	482	101
岡 山 (34)	27,800	△ 300	99	514	1.85	497	500	99
広 島 (35)	21,100	△ 500	98	535	1.85	522	508	103
山 口 (36)	17,100	△ 500	97	510	1.85	493	480	103
徳 島 (37)	9,750	△ 160	98	469	1.80	459	462	99
早期栽培 (38)	3,750	△ 30	99	450	1.80	439	453	97
普通栽培 (39)	6,010	△ 110	98	481	1.80	471	467	101
香 川 (40)	10,200	△ 700	94	496	1.80	485	479	101
愛 媛 (41)	12,800	△ 300	98	505	1.85	483	468	103
高 知 (42)	10,300	△ 500	95	454	1.80	445	446	100
早期栽培 (43)	5,770	△ 240	96	485	1.80	475	471	101
普通栽培 (44)	4,550	△ 200	96	415	1.80	408	413	99
福 岡 (45)	32,800	△ 600	98	480	1.85	458	456	100
佐 賀 (46)	22,200	△ 600	97	521	1.85	500	487	103
長 崎 (47)	10,000	△ 400	96	488	1.80	477	466	102
熊 本 (48)	30,000	△ 1,300	96	518	1.85	496	479	104
大 分 (49)	18,300	△ 600	97	491	1.80	479	475	101
宮 崎 (50)	14,700	△ 700	95	486	1.80	477	482	99
早期栽培 (51)	5,550	△ 190	97	487	1.80	479	470	102
普通栽培 (52)	9,170	△ 450	95	485	1.80	476	489	97
鹿 児 島 (53)	17,200	△ 800	96	485	1.80	476	470	101
早期栽培 (54)	3,930	△ 320	92	469	1.80	459	449	102
普通栽培 (55)	13,300	△ 500	96	490	1.80	482	477	101
沖 縄 (56)	576	△ 63	90	307	1.80	300	302	99
第一期稲 (57)	441	△ 30	94	350	1.80	345	355	97
第二期稲 (58)	135	△ 33	80	...	1.80	...	155	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 ②10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 ④10 a 当たり予想収量、⑤10 a 当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

全 国 ・ 都道府県	予想収穫量（子実用）			主 食 用 作 付 面 積 ⑧	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑨＝⑧×②
	実 数 ⑦＝①×②	前年産との比較			
		対差	対比		
	t	t	%	ha	t
全 国 (1)	7, 165, 000	△ 104, 000	99	1, 242, 000	6, 610, 000
北 海 道 (2)	540, 200	△ 13, 000	98	82, 200	475, 900
青 森 (3)	248, 700	13, 500	106	33, 800	207, 500
岩 手 (4)	249, 100	1, 500	101	42, 800	235, 800
宮 城 (5)	344, 700	18, 200	106	57, 200	323, 800
秋 田 (6)	458, 200	1, 700	100	69, 900	385, 800
山 形 (7)	359, 300	△ 6, 000	98	52, 400	308, 600
福 島 (8)	327, 600	10, 300	103	53, 100	297, 900
茨 城 (9)	316, 400	△ 2, 800	99	57, 800	306, 300
栃 木 (10)	284, 200	13, 900	105	47, 200	261, 000
群 馬 (11)	70, 100	△ 2, 200	97	12, 400	62, 500
埼 玉 (12)	137, 500	△ 4, 900	97	27, 500	133, 100
千 葉 (13)	265, 700	6, 200	102	45, 800	255, 100
東 京 (14)	465	△ 19	96	111	465
神 奈 川 (15)	14, 200	△ 200	99	2, 850	14, 200
新 潟 (16)	591, 700	△ 39, 300	94	100, 600	514, 100
富 山 (17)	185, 900	△ 11, 500	94	31, 200	164, 700
石 川 (18)	121, 200	△ 1, 700	99	20, 800	107, 700
福 井 (19)	116, 500	△ 4, 500	96	21, 500	107, 500
山 梨 (20)	25, 700	200	101	4, 660	25, 300
長 野 (21)	187, 900	600	100	29, 300	179, 900
岐 阜 (22)	100, 200	△ 600	99	19, 700	95, 300
静 岡 (23)	78, 400	2, 000	103	15, 000	77, 900
愛 知 (24)	123, 800	△ 7, 000	95	24, 700	118, 600
三 重 (25)	126, 300	△ 4, 500	97	24, 900	124, 700
滋 賀 (26)	142, 600	△ 9, 100	94	27, 000	136, 100
京 都 (27)	69, 300	△ 2, 700	96	13, 200	66, 300
大 阪 (28)	22, 300	△ 500	98	4, 430	22, 300
兵 庫 (29)	170, 000	△ 7, 000	96	32, 500	161, 500
奈 良 (30)	42, 700	△ 1, 200	97	8, 200	42, 400
和 歌 山 (31)	29, 200	△ 1, 800	94	5, 780	29, 200
鳥 取 (32)	57, 200	△ 5, 000	92	11, 700	56, 300
島 根 (33)	82, 900	△ 2, 200	97	15, 900	81, 900
岡 山 (34)	142, 900	△ 4, 300	97	26, 900	138, 300
広 島 (35)	112, 900	△ 1, 600	99	20, 500	109, 700
山 口 (36)	87, 200	△ 5, 400	94	16, 000	81, 600
徳 島 (37)	45, 700	△ 1, 900	96	9, 480	44, 500
早期栽培 (38)	16, 900	△ 1, 000	94	...	...
普通栽培 (39)	28, 900	△ 800	97	...	...
香 川 (40)	50, 600	△ 5, 100	91	10, 100	50, 100
愛 媛 (41)	64, 600	△ 4, 000	94	12, 800	64, 600
高 知 (42)	46, 800	△ 2, 900	94	10, 200	46, 300
早期栽培 (43)	28, 000	△ 1, 300	96	...	...
普通栽培 (44)	18, 900	△ 1, 300	94	...	...
福 岡 (45)	157, 400	△ 6, 600	96	32, 300	155, 000
佐 賀 (46)	115, 700	△ 1, 500	99	21, 700	113, 100
長 崎 (47)	48, 800	△ 100	100	10, 000	48, 800
熊 本 (48)	155, 400	△ 1, 400	99	28, 900	149, 700
大 分 (49)	89, 900	△ 3, 300	96	18, 100	88, 900
宮 崎 (50)	71, 400	△ 3, 800	95	12, 700	61, 700
早期栽培 (51)	27, 000	△ 1, 800	94	...	...
普通栽培 (52)	44, 500	△ 1, 700	96	...	...
鹿 児 島 (53)	83, 400	△ 2, 600	97	15, 800	76, 600
早期栽培 (54)	18, 400	△ 1, 400	93	...	...
普通栽培 (55)	65, 200	△ 1, 300	98	...	...
沖 縄 (56)	1, 770	△ 150	92	544	1, 670
第一期稲 (57)	1, 540	△ 80	95	...	...
第二期稲 (58)	...	...	...	...	...

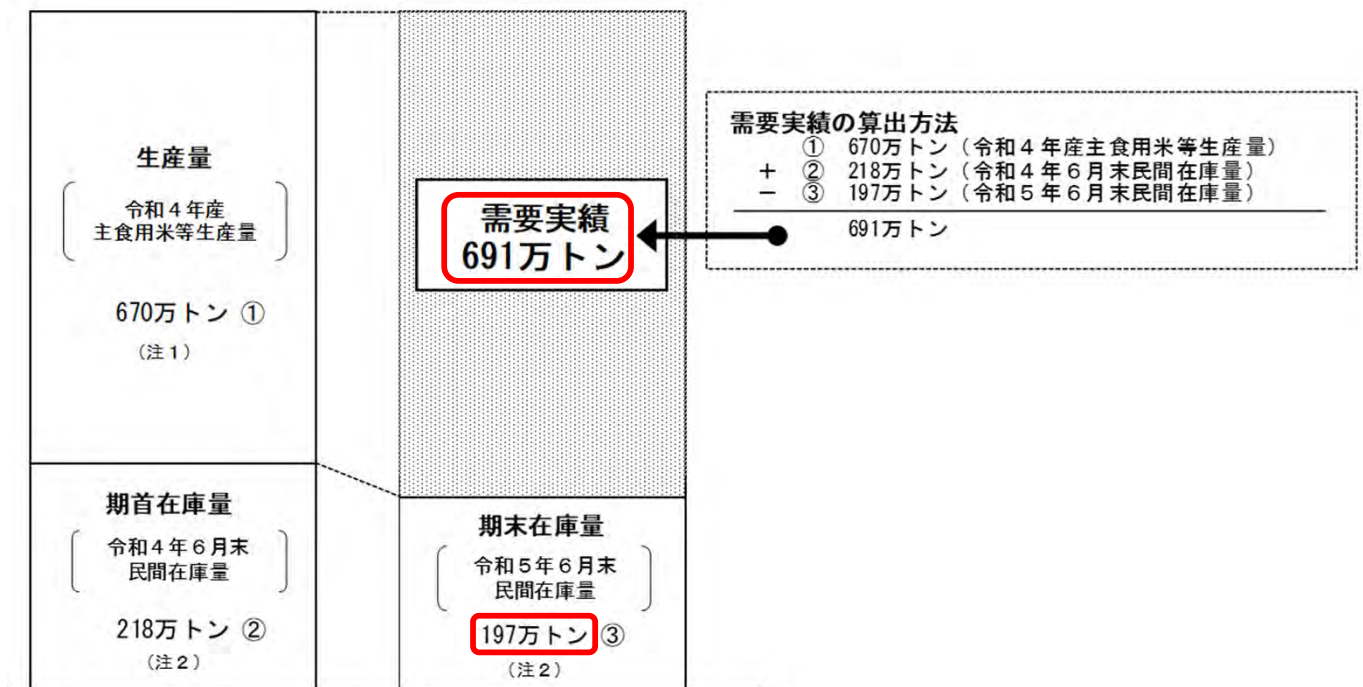
5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

6 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

主食用米等の需給見通し（米の基本指針(令和5年10月19日)）

（１） 令和4/5年の需要実績（確定値）

- 令和4/5年（令和4年7月から令和5年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、前年（702万トン）から10万トン減少し、691万トンとなった。
- 令和5年6月末民間在庫量は、前年と同数の197万トンとなった。



注1：主食用米等生産量は、令和4年産水稻の収穫量（主食用）（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。
 注2：6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。
 注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

（参考）6月末民間在庫量の推移

（単位：万トン）

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年 (確定値)
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200	218	218	197

その他詳細な内容は、下記URL「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」をご覧ください。

URL:https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html

(2) 全国の令和5/6年及び令和6/7年の需要見通し(推計値)

- 令和5/6年の需要見通しについて、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出し、令和5/6年を682万トン、令和6/7年を671万トンと見通す。

【需要見通しの算出方法】

- ① 平成8/9年から令和4/5年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ② ①で算出した値を用いたトレンド(回帰式)で、令和5/6年(令和5年7月から令和6年6月まで)及び令和6/7年(令和6年7月から令和7年6月まで)の1人当たり消費量(推計値)を算出
- ③ ②で算出した値に令和5年及び令和6年の人口(推計値)を乗じて算出

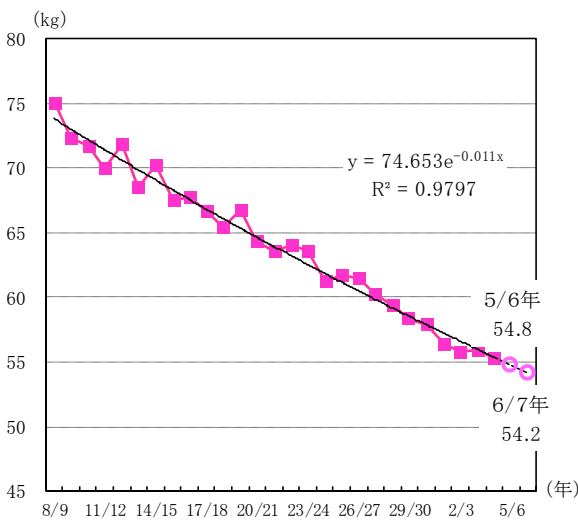
① 平成8/9年から令和4/5年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9
4/5	691.1	124,947	55.3

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和5/6年及び令和6/7年の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.3
5/6	28	54.8 (推計値)
6/7	29	54.2 (推計値)



③ 令和5/6年及び令和6/7年の1人当たり消費量(推計値)に令和5年及び令和6年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

	5/6年	6/7年
1人当たり消費量(推計値) ①	54.8kg	54.2kg
	5年	6年
人口(推計値) ②	124,450千人	123,886千人
	5/6年	6/7年
需要見通し ①×②	681.6万トン	671.0万トン

注1：人口(推計値)は、令和5年においては「人口推計(総務省、令和5年9月公表)」の総人口(令和5年9月1日現在(概算値)。以下「令和5年9月現在人口」という。)、令和6年においては令和5年9月現在人口に「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和5年4月公表)」の令和5年10月1日から令和6年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)の実数に、人口(推計値)の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量(推計値)(小数点第2位を四捨五入)に人口(推計値)(小数点第1位を四捨五入)を乗じて算出した値とは一致しない。

(3) 令和5/6年及び令和6/7年の需給見通し

- 令和5/6年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した682万トンを設定。この結果、令和6年6月末民間在庫量は177万トンと見通す。
- 令和6/7年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した671万トンと見込む中で、引き続き、各産地で需要に応じた生産・販売を行っていく必要があることから、令和5年産主食用米等の生産量の見通しと同水準の669万トンと設定。この結果、令和7年6月末民間在庫量は176万トンと見通す。

令和5/6年及び令和6/7年の主食用米等の需給見通し

（令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し）

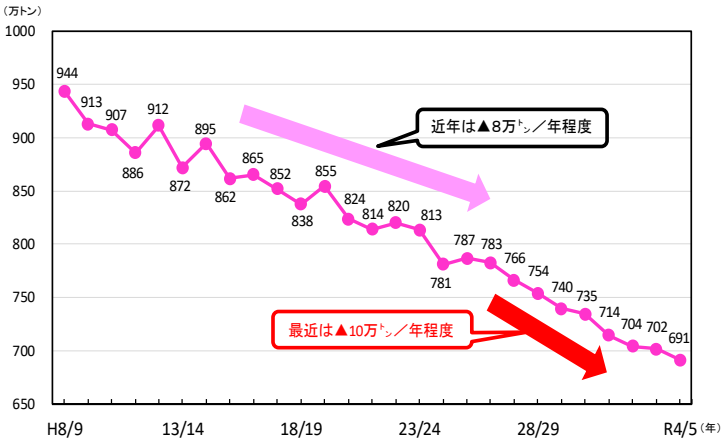
(単位：万トン)

令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	A	197	→ 194 <<3>>
	令和5年産主食用米等生産量	B	662	
	令和5/6年主食用米等供給量計	C = A + B	859	
	令和5/6年主食用米等需要量	D	682	
	令和6年6月末民間在庫量	E = C - D	177	

令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	E	177
	令和6年産主食用米等生産量	F	669
	令和6/7年主食用米等供給量計	G = E + F	847
	令和6/7年主食用米等需要量	H	671
	令和7年6月末民間在庫量	I = G - H	176

注1：欄外の記載は、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、<< >>書きは特別枠に係る取組数量。
注2：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、第4の2のSBS方式による輸入米は含まれない。
注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 主食用米の需要量の推移



(参考) 相対取引価格と民間在庫量



1 米の民間在庫情報

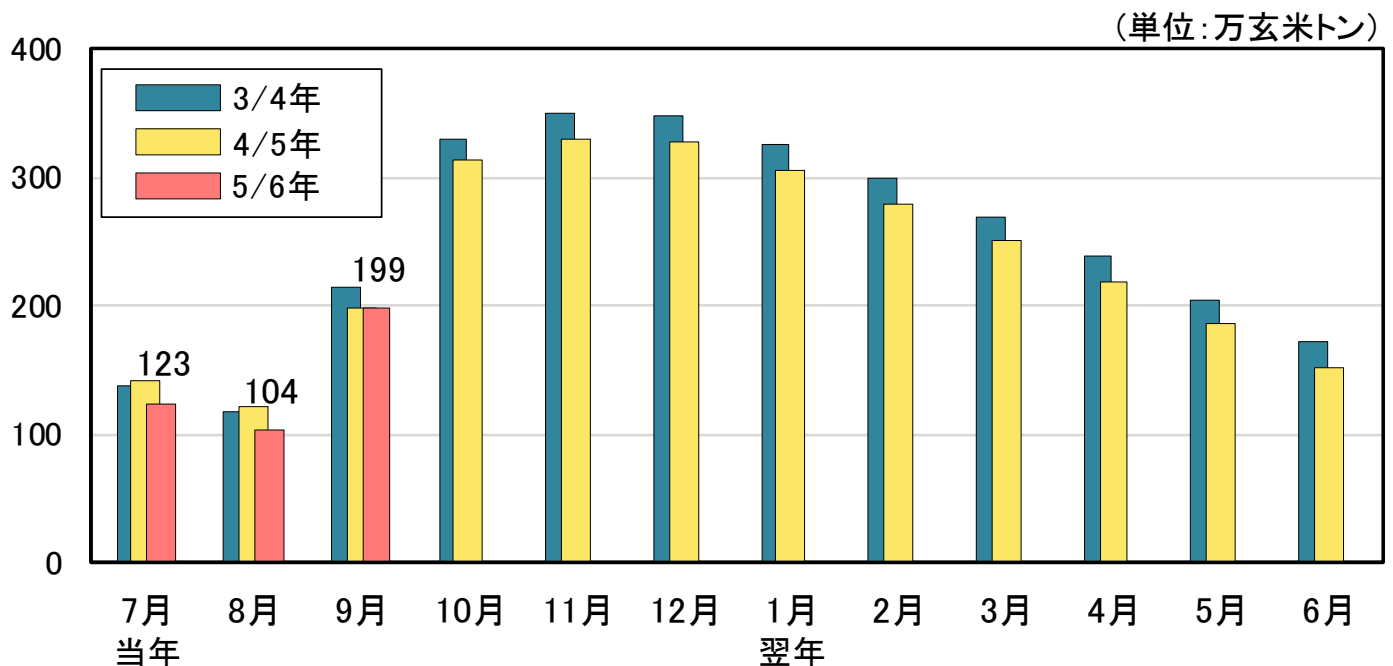
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和5年9月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、199万トンとなっている。前月（8月）の対前年差▲18万トンに対し、9月の対前年差が▲1万トンとなっているが、これは、記録的な高温により収穫時期が早まっている中で、前年より集荷が前倒しされていること等によるものと考えられる。
- 流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲5万トンの161万トン、販売段階で+4万トンの37万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29 年 産 米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1 年 古 米 (28 年 産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30 年 産 米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1 年 古 米 (29 年 産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2 年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元 年 産 米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1 年 古 米 (30 年 産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3 年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2 年 産 米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1 年 古 米 (元 年 産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4 年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3 年 産 米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1 年 古 米 (2 年 産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5 年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4 年 産 米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1 年 古 米 (3 年 産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6 年	123	104	199									
対前年差	▲20	▲18	▲1									
5 年 産 米	1	14	131									
1 年 古 米 (4 年 産)	106	78	56									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
4 期間については、5/6年であれば、令和5年7月～6年6月である。
5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29 年 産 米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1 年 古 米 (28 年 産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30 年 産 米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1 年 古 米 (29 年 産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2 年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元 年 産 米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1 年 古 米 (30 年 産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3 年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2 年 産 米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1 年 古 米 (元 年 産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4 年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3 年 産 米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1 年 古 米 (2 年 産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5 年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4 年 産 米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1 年 古 米 (3 年 産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6 年	95	78	161									
対前年差	▲21	▲19	▲5									
5 年 産 米	0	10	113									
1 年 古 米 (4 年 産)	86	61	42									

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29 年 産 米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1 年 古 米 (28 年 産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30 年 産 米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1 年 古 米 (29 年 産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2 年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元 年 産 米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1 年 古 米 (30 年 産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3 年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2 年 産 米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1 年 古 米 (元 年 産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4 年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3 年 産 米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1 年 古 米 (2 年 産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5 年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4 年 産 米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1 年 古 米 (3 年 産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6 年	27	26	37									
対前年差	+1	+2	+4									
5 年 産 米	0	4	18									
1 年 古 米 (4 年 産)	20	17	14									

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況

単位：千玄米トン

	4年 8月 ① (千玄米トン)	4年 9月 ② (千玄米トン)	5年 8月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	5年 9月 ⑥ (千玄米トン)	対前月差 ⑦=⑥-③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑧=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑨=⑥/② (%)
北海道	125.1	198.5	91.0	▲ 34.1	▲ 27.3%	180.6	89.6	▲ 17.9	▲ 9.0%
青森	48.9	57.8	46.6	▲ 2.3	▲ 4.7%	105.0	58.4	+ 47.2	+ 81.7%
岩手	66.5	58.4	46.2	▲ 20.3	▲ 30.5%	52.4	6.2	▲ 6.0	▲ 10.3%
宮城	92.5	109.0	69.7	▲ 22.8	▲ 24.7%	116.5	46.8	+ 7.5	+ 6.9%
秋田	79.7	118.8	48.8	▲ 30.9	▲ 38.8%	113.4	64.6	▲ 5.4	▲ 4.6%
山形	70.8	81.5	61.0	▲ 9.8	▲ 13.8%	102.8	41.7	+ 21.3	+ 26.2%
福島	63.6	63.7	55.9	▲ 7.7	▲ 12.1%	69.4	13.5	+ 5.8	+ 9.1%
茨城	54.8	127.8	54.2	▲ 0.5	▲ 1.0%	121.3	67.1	▲ 6.5	▲ 5.1%
栃木	82.8	129.1	58.2	▲ 24.6	▲ 29.7%	122.5	64.3	▲ 6.6	▲ 5.1%
群馬	10.7	10.0	9.0	▲ 1.7	▲ 15.8%	6.7	▲ 2.3	▲ 3.3	▲ 33.0%
埼玉	14.2	21.7	13.2	▲ 1.0	▲ 6.9%	20.7	7.5	▲ 0.9	▲ 4.3%
千葉	48.6	88.6	51.7	+ 3.1	+ 6.3%	83.1	31.4	▲ 5.5	▲ 6.2%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.5	0.6	0.5	+ 0.0	▲ 5.1%	0.8	0.3	+ 0.2	+ 36.3%
山梨	1.3	1.9	1.6	+ 0.3	+ 26.5%	2.8	1.2	+ 0.9	+ 44.9%
長野	26.2	35.1	27.0	+ 0.7	+ 2.9%	38.1	11.2	+ 3.0	+ 8.5%
静岡	6.0	15.5	6.8	+ 0.8	+ 12.7%	18.2	11.4	+ 2.6	+ 17.0%
新潟	55.1	210.0	65.0	+ 9.9	+ 18.0%	238.8	173.8	+ 28.8	+ 13.7%
富山	27.0	72.6	28.6	+ 1.6	+ 5.9%	76.9	48.3	+ 4.3	+ 5.9%
石川	29.5	71.6	25.6	▲ 3.9	▲ 13.2%	70.5	44.9	▲ 1.1	▲ 1.5%
福井	24.0	51.6	20.4	▲ 3.6	▲ 15.1%	45.2	24.8	▲ 6.4	▲ 12.3%
岐阜	13.5	13.1	15.4	+ 1.9	+ 14.2%	15.9	0.5	+ 2.8	+ 21.6%
愛知	12.8	17.7	11.3	▲ 1.5	▲ 11.8%	18.0	6.7	+ 0.3	+ 1.6%
三重	16.9	38.4	15.8	▲ 1.1	▲ 6.5%	38.6	22.8	+ 0.2	+ 0.4%
滋賀	21.9	64.7	16.8	▲ 5.1	▲ 23.3%	49.6	32.8	▲ 15.1	▲ 23.4%
京都	2.2	9.4	2.4	+ 0.1	+ 5.1%	8.2	5.8	▲ 1.2	▲ 12.8%
大阪	0.5	0.6	0.6	+ 0.2	+ 34.0%	0.7	0.0	+ 0.1	+ 9.0%
兵庫	15.4	31.8	14.2	▲ 1.2	▲ 7.7%	22.0	7.7	▲ 9.8	▲ 30.9%
奈良	3.6	3.6	4.7	+ 1.2	+ 33.3%	4.7	0.0	+ 1.1	+ 29.0%
和歌山	0.7	1.2	1.1	+ 0.4	+ 50.3%	1.4	0.4	+ 0.2	+ 16.7%
鳥取	11.0	15.9	6.3	▲ 4.7	▲ 42.5%	11.1	4.8	▲ 4.8	▲ 30.3%
島根	9.4	20.4	9.1	▲ 0.3	▲ 2.9%	18.3	9.2	▲ 2.1	▲ 10.3%
岡山	14.0	17.7	13.1	▲ 0.9	▲ 6.7%	15.1	2.0	▲ 2.6	▲ 14.8%
広島	14.3	30.8	10.2	▲ 4.1	▲ 28.7%	26.7	16.5	▲ 4.0	▲ 13.1%
山口	14.8	24.9	14.5	▲ 0.3	▲ 1.9%	22.7	8.2	▲ 2.2	▲ 8.8%
徳島	10.1	15.2	7.8	▲ 2.4	▲ 23.2%	11.8	4.0	▲ 3.4	▲ 22.6%
香川	6.9	8.6	4.1	▲ 2.8	▲ 40.5%	5.3	1.2	▲ 3.3	▲ 38.1%
愛媛	6.4	9.2	7.4	+ 1.0	+ 15.7%	9.7	2.3	+ 0.5	+ 5.8%
高知	10.7	10.0	9.6	▲ 1.1	▲ 10.7%	8.6	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 14.4%
福岡	22.4	34.1	17.2	▲ 5.3	▲ 23.4%	27.7	10.5	▲ 6.4	▲ 18.7%
佐賀	15.3	16.4	12.2	▲ 3.1	▲ 20.2%	11.7	▲ 0.6	▲ 4.7	▲ 28.9%
長崎	5.1	5.1	3.0	▲ 2.2	▲ 42.2%	2.7	▲ 0.3	▲ 2.4	▲ 47.6%
熊本	17.9	17.5	12.5	▲ 5.4	▲ 30.1%	12.3	▲ 0.2	▲ 5.2	▲ 29.6%
大分	8.4	8.5	6.0	▲ 2.4	▲ 28.1%	5.7	▲ 0.4	▲ 2.9	▲ 33.6%
宮崎	12.5	8.9	7.4	▲ 5.2	▲ 41.2%	4.1	▲ 3.2	▲ 4.7	▲ 53.5%
鹿児島	14.1	13.0	12.0	▲ 2.1	▲ 15.0%	9.5	▲ 2.5	▲ 3.5	▲ 26.9%
沖縄	0.5	0.4	0.4	▲ 0.1	▲ 20.0%	0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 28.9%
全国	122万ト	199万ト	104万ト	▲ 18万ト	▲ 14.6%	199万ト	+ 94万ト	▲ 1万ト	▲ 0.4%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

(北海道から秋田)		(単位:千玄米トン)											
		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	126.6	91.0	180.6									
	5年産米			112.1									
	1年古米(4年産)	112.6	79.8	60.4									
	出荷段階	96.4	66.9	144.5									
	5年産米			92.1									
	1年古米(4年産)	87.0	59.5	47.1									
	販売段階	30.2	24.1	36.2									
	5年産米			20.0									
	1年古米(4年産)	25.7	20.3	13.3									
青森	出荷＋販売段階	62.5	46.6	105.0									
	5年産米			71.3									
	1年古米(4年産)	58.6	43.4	31.2									
	出荷段階	48.4	34.7	93.3									
	5年産米			68.8									
	1年古米(4年産)	46.0	32.8	23.1									
	販売段階	14.1	11.9	11.7									
	5年産米			2.5									
	1年古米(4年産)	12.6	10.6	8.0									
岩手	出荷＋販売段階	62.0	46.2	52.4									
	5年産米			22.0									
	1年古米(4年産)	57.4	42.7	27.4									
	出荷段階	55.6	40.5	43.6									
	5年産米			19.5									
	1年古米(4年産)	51.7	37.3	21.4									
	販売段階	6.4	5.7	8.8									
	5年産米			2.5									
	1年古米(4年産)	5.7	5.4	6.0									
宮城	出荷＋販売段階	85.5	69.7	116.5									
	5年産米		0.0	61.5									
	1年古米(4年産)	79.5	64.6	50.1									
	出荷段階	75.2	60.5	102.8									
	5年産米		0.0	56.5									
	1年古米(4年産)	71.2	57.1	43.4									
	販売段階	10.4	9.2	13.7									
	5年産米		0.0	5.0									
	1年古米(4年産)	8.4	7.5	6.7									
秋田	出荷＋販売段階	73.3	48.8	113.4									
	5年産米			83.4									
	1年古米(4年産)	62.7	40.0	22.6									
	出荷段階	62.1	39.6	100.6									
	5年産米			76.8									
	1年古米(4年産)	53.1	31.8	17.3									
	販売段階	11.1	9.2	12.8									
	5年産米			6.6									
	1年古米(4年産)	9.6	8.2	5.3									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	79.4	61.0	102.8									
	5年産米		0.0	58.1									
	1年古米(4年産)	73.9	56.6	41.1									
	出荷段階	67.8	50.4	91.0									
	5年産米			55.6									
	1年古米(4年産)	64.8	48.0	33.7									
	販売段階	11.6	10.7	11.7									
	5年産米		0.0	2.6									
	1年古米(4年産)	9.1	8.6	7.4									
福島	出荷＋販売段階	73.5	55.9	69.4									
	5年産米		0.0	26.4									
	1年古米(4年産)	71.0	53.9	41.5									
	出荷段階	56.4	40.5	52.6									
	5年産米			24.1									
	1年古米(4年産)	55.3	39.8	27.9									
	販売段階	17.1	15.4	16.9									
	5年産米		0.0	2.3									
	1年古米(4年産)	15.7	14.2	13.6									
茨城	出荷＋販売段階	46.3	54.2	121.3									
	5年産米		20.5	95.5									
	1年古米(4年産)	35.6	24.6	18.3									
	出荷段階	32.1	36.5	89.4									
	5年産米		13.8	72.4									
	1年古米(4年産)	22.9	14.9	10.7									
	販売段階	14.2	17.7	31.9									
	5年産米		6.8	23.1									
	1年古米(4年産)	12.6	9.7	7.6									
栃木	出荷＋販売段階	73.1	58.2	122.5									
	5年産米		0.1	76.8									
	1年古米(4年産)	57.4	45.2	35.1									
	出荷段階	58.4	46.8	103.1									
	5年産米		0.1	66.6									
	1年古米(4年産)	45.2	35.8	27.6									
	販売段階	14.7	11.4	19.4									
	5年産米		0.0	10.2									
	1年古米(4年産)	12.2	9.5	7.5									
群馬	出荷＋販売段階	11.4	9.0	6.7									
	5年産米			0.0									
	1年古米(4年産)	9.6	7.6	5.5									
	出荷段階	8.8	6.9	5.1									
	5年産米												
	1年古米(4年産)	7.6	6.1	4.4									
	販売段階	2.5	2.1	1.7									
	5年産米			0.0									
	1年古米(4年産)	1.9	1.6	1.2									
埼玉	出荷＋販売段階	16.4	13.2	20.7									
	5年産米		0.6	11.2									
	1年古米(4年産)	12.0	8.6	5.9									
	出荷段階	12.8	9.7	16.0									
	5年産米		0.1	8.8									
	1年古米(4年産)	8.4	5.7	3.7									
	販売段階	3.7	3.5	4.7									
	5年産米		0.4	2.4									
	1年古米(4年産)	3.6	2.9	2.2									

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	13.4	51.7	83.1									
	5 年 産 米	0.0	43.9	78.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	10.9	5.8	3.5									
	出荷段階	6.7	41.4	67.6									
	5 年 産 米		39.1	66.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.9	0.9	0.4									
	販売段階	6.7	10.3	15.5									
	5 年 産 米	0.0	4.7	11.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.9	4.9	3.1									
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0	0.0									
	5 年 産 米												
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.0	0.0	0.0									
	出荷段階												
	5 年 産 米												
	1 年 古 米 (4 年 産)												
	販売段階	0.0	0.0	0.0									
	5 年 産 米												
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.0	0.0	0.0									
神奈川	出荷＋販売段階	0.7	0.5	0.8									
	5 年 産 米			0.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.5	0.2									
	出荷段階	0.7	0.4	0.7									
	5 年 産 米			0.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.4	0.1									
	販売段階	0.1	0.1	0.1									
	5 年 産 米			0.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.1	0.1	0.0									
山梨	出荷＋販売段階	2.2	1.6	2.8									
	5 年 産 米			1.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.1	1.6	1.3									
	出荷段階	1.9	1.3	2.6									
	5 年 産 米			1.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.9	1.3	1.1									
	販売段階	0.3	0.3	0.2									
	5 年 産 米			0.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.2	0.3	0.2									
長野	出荷＋販売段階	32.3	27.0	38.1									
	5 年 産 米		0.0	16.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	31.8	26.5	21.2									
	出荷段階	28.9	24.0	34.0									
	5 年 産 米			15.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	28.7	23.8	18.6									
	販売段階	3.5	3.0	4.1									
	5 年 産 米		0.0	1.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.0	2.7	2.5									
静岡	出荷＋販売段階	4.2	6.8	18.2									
	5 年 産 米		4.0	16.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.2	2.8	1.9									
	出荷段階	1.0	2.6	10.9									
	5 年 産 米		2.1	10.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.0	0.5	0.4									
	販売段階	3.2	4.2	7.2									
	5 年 産 米		1.9	5.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.2	2.3	1.5									

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	88.0	65.0	238.8									
	5 年 産 米		1.9	194.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	82.5	58.5	40.3									
	出荷段階	73.8	53.2	215.2									
	5 年 産 米		1.6	178.7									
	1 年 古 米 (4 年 産)	69.4	47.9	33.2									
	販売段階	14.2	11.8	23.6									
	5 年 産 米		0.2	15.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	13.0	10.6	7.1									
富山	出荷＋販売段階	33.9	28.6	76.9									
	5 年 産 米		2.1	55.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	32.9	25.9	20.6									
	出荷段階	28.7	22.8	68.7									
	5 年 産 米		1.2	52.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	28.7	21.6	16.7									
	販売段階	5.2	5.7	8.2									
	5 年 産 米		1.0	3.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.2	4.2	3.9									
石川	出荷＋販売段階	25.3	25.6	70.5									
	5 年 産 米		6.7	55.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	18.5	13.3	10.4									
	出荷段階	20.5	19.6	52.3									
	5 年 産 米		4.2	39.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	14.7	10.6	8.5									
	販売段階	4.8	6.0	18.2									
	5 年 産 米		2.5	15.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.8	2.7	1.9									
福井	出荷＋販売段階	16.2	20.4	45.2									
	5 年 産 米		9.7	38.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	15.5	10.3	7.0									
	出荷段階	12.2	12.1	29.3									
	5 年 産 米		3.9	24.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	11.8	8.0	4.9									
	販売段階	4.0	8.2	15.9									
	5 年 産 米		5.7	13.7									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.7	2.3	2.1									
岐阜	出荷＋販売段階	17.0	15.4	15.9									
	5 年 産 米		1.1	5.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	15.1	12.9	9.8									
	出荷段階	13.6	11.2	11.9									
	5 年 産 米		0.8	4.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	12.5	9.6	7.5									
	販売段階	3.4	4.3	4.0									
	5 年 産 米		0.4	1.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.6	3.3	2.3									
愛知	出荷＋販売段階	12.5	11.3	18.0									
	5 年 産 米		2.1	11.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	12.1	8.9	5.9									
	出荷段階	10.2	9.0	13.9									
	5 年 産 米		1.5	9.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	10.2	7.4	4.3									
	販売段階	2.3	2.3	4.0									
	5 年 産 米		0.6	2.2									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.9	1.4	1.5									

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	8.0	15.8	38.6									
	5 年 産 米		11.0	34.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	6.7	3.7	2.7									
	出荷段階	4.6	11.4	32.1									
	5 年 産 米		9.1	30.4									
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.1	2.0	1.4									
	販売段階	3.4	4.4	6.5									
	5 年 産 米		1.9	4.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.6	1.8	1.3									
滋賀	出荷＋販売段階	19.7	16.8	49.6									
	5 年 産 米		2.8	35.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	18.6	13.2	13.1									
	出荷段階	14.7	12.6	39.9									
	5 年 産 米		2.4	33.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	14.5	10.0	6.2									
	販売段階	5.0	4.2	9.7									
	5 年 産 米		0.4	2.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.1	3.1	6.8									
京都	出荷＋販売段階	4.0	2.4	8.2									
	5 年 産 米		0.1	6.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.0	2.3	1.3									
	出荷段階	3.2	1.6	7.4									
	5 年 産 米		0.1	6.7									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.2	1.6	0.8									
	販売段階	0.8	0.7	0.8									
	5 年 産 米		0.0	0.2									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.7	0.5									
大阪	出荷＋販売段階	0.8	0.6	0.7									
	5 年 産 米			0.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.8	0.6	0.4									
	出荷段階	0.7	0.5	0.6									
	5 年 産 米			0.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.5	0.3									
	販売段階	0.2	0.1	0.1									
	5 年 産 米												
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.1	0.1	0.1									
兵庫	出荷＋販売段階	18.2	14.2	22.0									
	5 年 産 米		0.0	16.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	17.6	13.8	5.4									
	出荷段階	14.8	11.3	18.6									
	5 年 産 米			15.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	14.8	11.3	3.2									
	販売段階	3.4	2.9	3.4									
	5 年 産 米		0.0	1.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.9	2.5	2.2									
奈良	出荷＋販売段階	5.8	4.7	4.7									
	5 年 産 米			1.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.1	4.1	3.1									
	出荷段階	4.5	3.7	3.8									
	5 年 産 米			1.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.9	3.2	2.5									
	販売段階	1.3	1.0	0.9									
	5 年 産 米			0.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.1	0.9	0.6									

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	1.3	1.1	1.4									
	5年産米			0.6									
	1年古米(4年産)	1.0	0.8	0.6									
	出荷段階			0.6									
	5年産米			0.6									
	1年古米(4年産)												
	販売段階	1.3	1.1	0.8									
	5年産米			0.1									
	1年古米(4年産)	1.0	0.8	0.6									
鳥取	出荷＋販売段階	9.6	6.3	11.1									
	5年産米		0.1	6.7									
	1年古米(4年産)	9.1	6.0	4.2									
	出荷段階	8.1	5.2	10.0									
	5年産米		0.1	6.3									
	1年古米(4年産)	7.8	4.9	3.6									
	販売段階	1.5	1.1	1.1									
	5年産米			0.4									
	1年古米(4年産)	1.3	1.0	0.7									
島根	出荷＋販売段階	11.6	9.1	18.3									
	5年産米		0.4	12.5									
	1年古米(4年産)	10.8	8.0	5.3									
	出荷段階	9.5	7.0	16.1									
	5年産米		0.4	11.4									
	1年古米(4年産)	9.0	6.2	4.4									
	販売段階	2.1	2.1	2.2									
	5年産米		0.0	1.1									
	1年古米(4年産)	1.8	1.8	0.9									
岡山	出荷＋販売段階	18.2	13.1	15.1									
	5年産米		0.0	7.3									
	1年古米(4年産)	17.9	12.8	7.7									
	出荷段階	13.3	9.7	10.9									
	5年産米		0.0	6.1									
	1年古米(4年産)	13.3	9.6	4.9									
	販売段階	4.9	3.4	4.2									
	5年産米		0.0	1.2									
	1年古米(4年産)	4.6	3.2	2.8									
広島	出荷＋販売段階	14.2	10.2	26.7									
	5年産米		0.2	19.6									
	1年古米(4年産)	12.6	9.0	6.3									
	出荷段階	9.2	6.6	22.7									
	5年産米		0.1	18.4									
	1年古米(4年産)	9.2	6.4	4.2									
	販売段階	5.0	3.6	4.1									
	5年産米		0.0	1.2									
	1年古米(4年産)	3.4	2.6	2.1									
山口	出荷＋販売段階	18.0	14.5	22.7									
	5年産米		0.4	12.1									
	1年古米(4年産)	14.0	10.7	7.7									
	出荷段階	15.5	12.2	20.4									
	5年産米		0.3	11.5									
	1年古米(4年産)	11.8	8.6	6.4									
	販売段階	2.5	2.3	2.3									
	5年産米		0.1	0.6									
	1年古米(4年産)	2.2	2.0	1.4									

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	1.8	7.8	11.8									
	5 年 産 米		6.8	11.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.6	0.9	0.6									
	出荷段階	0.7	6.0	9.2									
	5 年 産 米		5.6	9.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.6	0.3	0.0									
	販売段階	1.1	1.8	2.6									
	5 年 産 米		1.1	1.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.0	0.6	0.6									
香川	出荷＋販売段階	6.3	4.1	5.3									
	5 年 産 米		0.2	2.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	6.0	3.8	2.3									
	出荷段階	5.4	3.2	3.9									
	5 年 産 米			2.2									
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.3	3.2	1.7									
	販売段階	0.8	1.0	1.4									
	5 年 産 米		0.2	0.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.6	0.6									
愛媛	出荷＋販売段階	7.2	7.4	9.7									
	5 年 産 米		1.6	5.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	6.2	5.0	4.0									
	出荷段階	6.4	6.6	9.0									
	5 年 産 米		1.6	4.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.5	4.3	3.6									
	販売段階	0.8	0.8	0.6									
	5 年 産 米		0.1	0.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.7	0.7	0.5									
高知	出荷＋販売段階	3.4	9.6	8.6									
	5 年 産 米	0.6	7.4	6.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.3	1.8	1.5									
	出荷段階	0.6	3.7	3.0									
	5 年 産 米	0.4	3.6	3.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.2	0.1	0.0									
	販売段階	2.8	5.9	5.5									
	5 年 産 米	0.2	3.8	3.8									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.1	1.7	1.4									
福岡	出荷＋販売段階	25.7	17.2	27.7									
	5 年 産 米		1.6	17.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	24.3	14.7	10.0									
	出荷段階	21.9	12.7	20.7									
	5 年 産 米		1.1	13.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	21.8	11.5	7.5									
	販売段階	3.7	4.5	7.0									
	5 年 産 米		0.5	3.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.5	3.2	2.5									
佐賀	出荷＋販売段階	15.5	12.2	11.7									
	5 年 産 米		0.1	2.7									
	1 年 古 米 (4 年 産)	14.6	11.5	8.5									
	出荷段階	13.4	10.5	10.4									
	5 年 産 米		0.1	2.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	13.4	10.5	7.9									
	販売段階	2.1	1.7	1.3									
	5 年 産 米		0.1	0.2									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.2	1.0	0.6									

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	3.4	3.0	2.7									
	5 年 産 米		0.6	1.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.0	2.1	1.3									
	出荷段階	2.7	2.4	2.1									
	5 年 産 米		0.5	1.0									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.7	1.9	1.1									
	販売段階	0.7	0.6	0.5									
	5 年 産 米		0.0	0.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.3	0.2	0.2									
熊本	出荷＋販売段階	15.3	12.5	12.3									
	5 年 産 米		1.9	5.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	13.6	9.2	5.5									
	出荷段階	10.3	7.2	6.2									
	5 年 産 米		1.0	3.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	10.0	5.9	2.9									
	販売段階	5.0	5.3	6.1									
	5 年 産 米		0.9	2.4									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.7	3.3	2.6									
大分	出荷＋販売段階	7.5	6.0	5.7									
	5 年 産 米		0.5	2.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	6.8	5.0	3.3									
	出荷段階	4.8	3.9	3.7									
	5 年 産 米		0.4	1.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	4.5	3.3	2.0									
	販売段階	2.7	2.1	2.0									
	5 年 産 米		0.1	0.5									
	1 年 古 米 (4 年 産)	2.2	1.8	1.3									
宮崎	出荷＋販売段階	8.3	7.4	4.1									
	5 年 産 米	5.0	5.2	3.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	3.2	2.1	1.0									
	出荷段階	5.2	2.7	0.5									
	5 年 産 米	3.3	1.8	0.4									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.9	0.9	0.1									
	販売段階	3.1	4.6	3.6									
	5 年 産 米	1.7	3.4	2.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.3	1.2	0.9									
鹿児島	出荷＋販売段階	12.6	12.0	9.5									
	5 年 産 米	0.8	2.7	2.6									
	1 年 古 米 (4 年 産)	7.6	5.7	3.8									
	出荷段階	7.3	6.9	3.1									
	5 年 産 米	0.1	1.3	0.9									
	1 年 古 米 (4 年 産)	5.9	4.5	1.1									
	販売段階	5.2	5.1	6.4									
	5 年 産 米	0.7	1.4	1.7									
	1 年 古 米 (4 年 産)	1.7	1.3	2.7									
沖縄	出荷＋販売段階	0.6	0.4	0.3									
	5 年 産 米	0.6	0.4	0.3									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.0	0.0										
	出荷段階	0.3	0.2	0.2									
	5 年 産 米	0.3	0.2	0.2									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.0											
	販売段階	0.3	0.2	0.1									
	5 年 産 米	0.3	0.2	0.1									
	1 年 古 米 (4 年 産)	0.0	0.0										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。